

令和 7 年度第 1 回安城市ごみ減量推進委員会 次第（結果）

令和 7 年 8 月 5 日（火）午後 2 時～

安城市役所本庁舎 3 階 第 1 0 会議室

1 会長あいさつ

2 副会長選出

3 議事

（１）リユース促進の取り組みについて（資料 1）

【承認】

【委員からの質問・意見】

（質問）ジモティーやおいくらのサービス利用の際にトラブルがあった場合の責任はどこが負うのか。

（回答）市はシステムの利用を周知して利用を促させていただくという立場。何かあった場合はサービス提供事業者の対応となる。現状では協定を結んでいる他市でのトラブル事例は聞いていない。

（質問）効果測定はどのように行う予定か。

（回答）サービス提供事業者から提供のあった関係実績で把握していく。

（質問）サービスを知っているが利用しない層に向けた広報をどう行うか。ポイントなどのインセンティブは考えているか。

（回答）市ホームページや協定を結んだ際の報道発表による周知を考えている。また、広報の際には利用者への分かりやすいPRに努める。ポイントの付与は考えていない。他自治体の取り組みを参考にしたい。

（質問）高齢者に対する支援・対応を教えてください。

（回答）業者により自宅出張サービスを行っているところもあるため、PRさせてもらいできるだけ利用を促したい。難しいところはあるかとは思いますが、まずはサービスを使っていたきたいと思っている。

（質問）前回いつでも持ち込みのできるリユーススポットについて紹介いただいた。市で行っている入札販売の肩代わりにもなるのではと思うが、将来的に検討を進める予定があるか伺いたい。

（回答）市としては、場所や費用、人員の確保などの問題で難しい面がある。協定を結ぼうとしているジモティーでは、全国でジモティースポットという

持ち込める場所を展開しており、名古屋市内にも3か所ある。そちらの運営は市の費用負担はなく、ジモティーが独自に行い、市はPRを行っていると考えている。安城市内で同様のスポットをやれるか情報収集しながら、実施の可能性については今後も検討していきたい。

4 報告事項

- (1) 令和6年度の事業実績について（資料2）
- (2) 令和7年度の主な施策について（資料3）
- (3) 一般廃棄物処理手数料の改定について（資料4-1、4-2）

【委員からの質問・意見】

(意見) ごみ関連施設掲示用ポスターにエコらんど、各リサイクルステーションが引き続き無料という記載があるが、市民の中には施設の名前と場所がピンと来ない人もいると思うので、工夫していただけると良いと感じました。

- (4) 環境審議会とごみ減量推進委員会の統合について（資料5）

5 その他

- (1) 意見交換

ごみ関連施設の開所日時の変更について（資料6）

【委員からの質問・意見】

(意見) 安城市のリサイクルプラザ等で、昨年度から今年にかけて2回、リチウムイオン電池によるものと思われる火災事故が発生していると聞いている。リチウムイオン電池関係の事故は全国的に多く起こっており、事故が起これば、施設に大きな被害をもたらすので市民生活に多大な影響が及ぶ恐れがある。今回、平日の夕方の受け入れ時間を短縮し、点検、清掃に充てて火災の防止を図っていくのは、やむを得ない面があるのではと感じている。

(意見) 土曜日の開所日が増えるのは、会社員をやっている身として利用する人も多いと思い、ありがたい。

(質問) リサイクルプラザは家庭ごみしかないならば、平日の開所日を減らすこともできるのではと思うが、メリット、デメリットあれば教えてほしい。

(回答) 毎日ごみステーションでの不燃ごみなどは回収しており、収集車に対しての受入れは毎日行っているため、空いてる時間帯は市民の皆様にも搬入をしていただければと思っている。

(意見・質問) 土曜日が増えるというのは、会社員にはとても良いことだと思うのでぜひお願いしたいが、事業者が持ってくる事業ごみも土日搬入できるということか。

(回答) 現状の第3日曜日は家庭系のみを対象にしているので、今のところ土日に事業者の方を対象にすることは考えていない。

(2) ごみ減量施策全般についての意見

(意見) 生ごみ処理機の補助事業について、どの自治体も以前から継続していただらと続けている事業と感じている。電気処理機は学問的な分析によるとCO2は増えるという結果がある。ごみが減る量は1家庭分でも、1年でざっと計算すると0.5tぐらい。ごみ1t処理するのに平均で2万5千円ぐらいかかっていると思う。処理機の補助額が3万円だから、金額的にも合わない。年間400万円かける意味はどこにあるのか。太陽光パネルの補助も市民から見ると助かるが、全体として限られた予算の中で、いろんな課題がある。すぐにはなかなか難しいが、議論を重ねながら、新しい課題に対して、貴重なお金を使った方が良いのではと思う。